

令和2年度

教育委員会の点検・評価報告書

(令和元年度対象)

矢板市教育委員会

目 次

はじめに	1
I 教育委員会の点検・評価の概要	
1 目的	3
2 点検・評価の対象	3
3 点検・評価の構成	3
4 点検・評価の方法	3
5 外部評価委員	4
6 議会への報告及び公表	4
II 教育委員会事務局の組織・事務分掌	5
III 令和元年度教育委員会定例会・臨時会開催状況	6
IV 施策の点検・評価一覧	11
1 小中学校教育の充実	12
2 幼児養育の充実	19
3 まなびの広場の充実	20
4 市民力の実践	21
5 市民のつながりを強める	22
6 推進体制の充実	23
7 文化財の調査・保護・活用	24
8 市民文化の創造	26
9 スポーツ・レクリエーション活動の振興	28
10 青少年の健全育成	30
資 料	
矢板市教育行政事務点検評価委員会設置要綱	34

は じ め に

矢板市教育委員会は、第2次21世紀矢板市総合計画基本構想（平成23年度～平成32年度）に示した本市の特性である「市民力が盛んなまち」、「教育に力を入れるまち」に磨きをかけ、その特性を生かしたまちづくりを推進するため、矢板市教育行政基本方針に基づき、矢板市生涯学習推進計画四期計画を策定、教育行政の推進に取り組んでおります。

生涯学習の推進では、矢板市がめざす市民参画型生涯学習によるまちづくりの基本理念である「みんなが学びみんなでつくる魅力あふれるふるさと矢板」のもと、市民一人ひとりが生涯各期で学んだ成果を生かした活動を展開し、人と人、組織と組織などをつなぎ広げることによって、個々の生活の質を高め、個性と活気にあふれた“まち（地域社会）”づくりを実現するために、生涯学習館、矢板、泉、片岡公民館、図書館、郷土資料館、矢板武記念館などの各施設を拠点に、家庭教育、学校教育、社会教育の推進に向け各種事業に取り組んでおります。

また、学校教育の推進では、「子どものよさを伸ばし、ふるさとを愛する心と自ら学ぶ力を育てる教育の実践」を学校教育の指標に掲げ、市内の小中学校と家庭、学校、地域、関係機関が連携しながら、児童生徒の心身共に健全で生きる力を育む教育施策に取り組んでおります。

教育委員会が行う各種事業や施策については、矢板市教育行政基本方針に基づき、毎年、当該年度中に内部の評価・点検に加え、教育委員会や議会、区長会、家庭教育、文化、スポーツ、青少年等の団体の代表者や学識経験者等で組織する社会教育委員会、公民館運営審議会、図書館協議会の審議を経て次年度の施策を検討し、見直しや改善を行い、具体的な事業内容を計画し、教育要覧にまとめております。

一方、各種事業や施策の執行については、教育委員会事務局の局内会議を開催、事業の進捗状況や事業推進にあたっての問題課題を把握、情報の共有を行い、その都度、成果の評価・点検を行いながら、事業執行や事業改善、修正に努めております。合わせて、会議で出された重要事項などについては、毎月開催する教育委員会定例会で審議し、各種施策の展開を図り、教育行政の推進に努めております。

本報告書では、教育委員会が令和元年度に実施いたしました各種事業について、学識経験者の点検と評価をいただいた内容をまとめたものです。

この点検と評価を市民の皆様公表し、ご意見等をお寄せいただき、次年度の事業改善、計画づくりに生かし、より充実した教育行政の推進に努めてまいりたいと考えております。

令和2年10月

矢板市教育委員会

矢板市教育行政基本方針

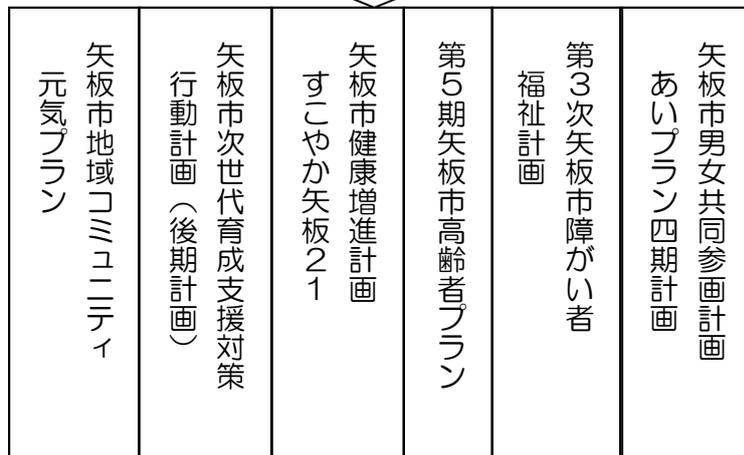
- 1 人間尊重の立場に立った豊かな人間性と生きる力を育てる学校教育の充実
- 2 心のふれあいと人と人、組織と組織がつながり合う社会教育の振興
- 3 高原山の自然を背景にしたうらおいのある芸術文化の振興と文化財保護活用の推進
- 4 健康で明るい一人一スポーツの推進
- 5 家庭教育力の向上

矢板市教育委員会は、あらゆる機会を通じて常に学校教育・社会教育・家庭教育相互の連携と調和を図り、生涯にわたって個性・能力を伸ばし、自己教育力向上のために協力し、継続的な指導の計画を樹立し、矢板市民の理解と協力を得ながらその目的を達成すべく次の項目をかかげ、積極的に本市教育行政の推進を図るものである。

計画の位置付け

第2次21世紀矢板市総合計画基本構想

矢板市教育行政基本方針



矢板市生涯学習推進計画四期計画

I 教育委員会の点検・評価の概要

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、矢板市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果を公表し、教育行政の適切で効果的な執行等を推進し、合わせて市民に対して矢板市の教育行政の取組について説明責任を図ることを目的としています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋（平成27年4月1日施行）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

（1）令和元年度教育委員会活動状況

（2）矢板市教育行政基本方針に基づき、教育委員会が実施した学校教育の振興、生涯学習・社会教育の振興、芸術文化の振興、文化財の保護活用、スポーツ振興に関する令和元年度の各種施策のうち具体的な事務事業の主なもの。

3 点検・評価の構成

矢板市教育行政基本方針に基づく施策体系の視点ごとに次のとおり構成しています。

（1）事業の目的／施策の主なものについて目的を掲載

（2）施策の対象者／施策の対象者を掲載

（3）今年度の目標／施策の主なものについて目標を掲載

（4）施策内容／施策の主なものについて実施状況・実施値等を記載

（5）課題／施策内容に基づき課題を掲載

4 点検・評価の方法

（1）自己評価／各主管課による自己評価を実施

（2）委員評価／評価委員から評価と意見の聴取

5 外部評価委員（学識経験者）

「矢板市教育行政点検評価委員会設置要綱」に基づき、学校教育、社会教育等教育行政に識見を有する評価委員を教育委員会が委嘱します。

<評価委員>

No.	評 価 委 員	職 名
1	中村 恵子	学識経験者（元矢板市小中学校長会長）
2	齋藤 典子	学識経験者（矢板市地域コミュニティづくり推進会議委員）
3	大島 広一	学識経験者（元矢板中学校PTA会長）

6 議会への報告及び公表

矢板市議会に報告書を提出するとともに矢板市公式ホームページに掲載し公表いたします。

Ⅲ 令和元年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 4月22日(月) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 矢板市立中学校平成31年度一般選抜について (2) 事業の後援・共催について 議 事 (1) 区域外就学承諾願について (2) 矢板市教育行政基本方針について (3) 矢板市人権教育基本方針について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 5月20日(月) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 長欠児童生徒の推移について (2) 漢検・数検自主学習講座について (3) 「ともなり学習教室」について (4) 事業の後援について 議 事 (1) 学区外就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 6月24日(月) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 第357回矢板市議会定例会について (2) 平成31年度要保護準要保護児童生徒認定について (3) 外国語教育について (4) 矢板市特色のある学校づくり推進事業の申請状況について (5) 社会教育委員の委嘱について (6) 図書館協議会委員の委嘱について (7) 日本遺産の認定について (8) 事業の後援・共催について (9) その他 1) ともなり学習教室の実施状況・漢検数検自主学習講座実施状況について 2) 英語DVD製作の発表について 3) ICT教育の推進について 4) 日本遺産公式ガイドブックについて 議 事 (1) 矢板市運動部活動指導員設置要綱の制定について (2) 学区外学校就学許可願について (3) 小規模特認校入学(転入学)申請書について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 課長補佐 1 指導主事 1 社教主事 1

Ⅲ 令和元年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 7月22日(月) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 夏季休業に向けた児童・生徒指導について (2) 中学生海外派遣事業について (3) 事業の後援について (4) その他 1) 国体実行委員会について 議 事 (1) 令和2年度使用小学校用教科用図書の採択について (2) 令和2年度使用小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について (3) 区域外就学承諾願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 指 導 主 事 3
定例会 8月19日(月) 午後3時30分 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 令和元年度全国学力・学習状況調査について (2) 令和元年度とちぎっ子学習状況調査について (3) 事業の後援について 議 事 (1) 区域外就学承諾願について (2) 学区外学校就学許可願について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 指 導 主 事 3 社 教 主 事 1
定例会 9月24日(火) 午後3時30分 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 第358回矢板市議会定例会について (2) 家庭学習ノートコンテストについて (3) SOMPOボールゲームフェスタ in 矢板の開催について (4) 事業の後援について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 公 民 館 長 1 指 導 主 事 3 社 教 主 事 1
臨時会 10月1日(火) 午後4時30分 生涯学習館 2階 研修室(2)	議 事 (1) 教育長職務代理者の指名について (2) 議席の指定について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 指 導 主 事 3 社 教 主 事 1

Ⅲ 令和元年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 10月17日(木) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 令和元年度矢板市中学生海外派遣事業について (2) 令和元年度「教育委員会の点検・評価」について (3) 事業の後援について (4) その他 1) 台風19号について 2) 塩谷南那須教育委員会会議について 議 事 (1) 区域外就学承諾願について (2) 令和2年度スポーツの日に伴う秋休みの対応について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 指導主事 2 社教主事 1
定例会 11月12日(火) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 令和2年度予算要求について (2) 事業の後援について (3) 令和元年度矢板市家庭学習ノートコンテストについて (4) その他 1) 令和元年度第21回ともなり文芸祭り応募状況について 2) 山田ミヤコタナゴ生息池状況調査報告について 議 事 (1) 区域外就学承諾願について (2) 学区外学校就学許可願について (3) 小規模特認校入学(転入学)申請書について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 12月16日(月) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 第359回矢板市議会定例会について (2) 家庭学習ノートコンテスト結果報告について (3) 事業の後援について 議 事 (1) 矢板市子ども読書活動推進計画(第三期)について (2) 区域外就学承諾願について (3) 学区外学校就学許可願について (4) 小規模特認校入学(転入学)申請書について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 指導主事 1

Ⅲ 令和元年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 1月21日(火) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 中学生海外派遣事業について (2) 矢板市立小中学校適正配置計画について (3) 矢板市民体育祭について (4) 矢板市社会体育推進員について (5) 矢板市文化会館の整備方針について (6) 成年年齢の引き下げに伴う成人式のあり方について (4) その他 1) 式典出席者(案)の変更について 議 事 (1) 区域外就学承諾願学区について (2) 学区外学校就学許可願について	委 員 5 課 長 1 班 長 1 指 導 主 事 3 社 教 主 事 1
定例会 2月19日(水) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 矢板っ子輝き大賞について (2) 矢板市内小学生進学先について (3) その他 1) お正月イベントン報告について 議 事 (1) 区域外就学承諾願について (2) 学区外学校就学許可願について	委 員 5 部 長 兼 課 長 1 課 長 1 班 長 1 指 導 主 事 3 社 教 主 事 1
臨時会 3月3日(火) 午後4時40分 生涯学習館 2階 教育長室	議 事 (1) 令和2年度教職員人事異動(案)について (2) 令和2年度矢板市教育委員会事務局職員人事異動(案)について	委 員 4 部 長 兼 課 長 1 課 長 補 佐 1

Ⅲ 令和元年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 3月18日(木) 午後3時 生涯学習館 2階 研修室(2)	報告事項 (1) 第360回矢板市議会定例会について (2) 学校医等の報告について (3) 県立高校特色選抜の入試結果について (4) 事業の後援について (5) 中学生海外派遣報告会について (6) その他 1) 「矢板市子ども読書活動推進計画(第三期)」について 2) 平成31年度の教育委員会定例会日程表(案)について 議 事 (1) 準教科書の使用承諾願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 学区外学校就学許可願について (4) 小規模特認校入学(転入学)申請書について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 班 長 1 指導主事 3 社教主事 1

Ⅳ 施策の点検評価一覧

NO	基本政策		施策の展開		施策の方策	評 価		
						自己評価	委員評価	
1	1	小中学校教育の充実	1	生きる力を育む教育の実践	①	キャリア教育の推進	B	B
2			2	信頼される開かれた学校づくり	①	地域人材の活用	B	B
3			3	特色ある教育の展開	①	小中一貫教育、小中連携の実践	B	B
4			4	教育相談体制の充実	①	いじめ、不登校等教育相談	B	B
5			5	教育環境の整備	①	情報教育の推進	B	B
6					②	学校図書館の充実	C	C
7					③	学校施設大規模改修事業	B	B
8	2	幼児養育の充実	1	幼保小の連携	①	幼保小連携の推進	A	A
9	3	まなびの広場の充実	1	多様な学習機会の提供	②	公民館市民講座開催事業	B	B
10	4	市民力の実践	1	地域での活動支援	①	学校支援地域本部事業	B	B
11	5	市民のつながりを強める	2	公民館活動の支援	①	地域づくり推進事業	B	B
12	6	推進体制の充実	1	生涯学習の支援	①	生涯学習情報の提供	B	B
13	7	文化財の調査・保護・活用	1	文化財の保護活用	①	矢板武記念館運営事業	B	B
14					②	郷土資料館運営事業	C	C
15	8	市民文化の創造	1	芸術文化の創造・振興	①	芸術文化振興事業	B	B
16					②	ともなり文芸祭り開催事業	B	B
17	9	スポーツ・レクリエーション活動の振興	1	スポーツ・レクリエーション活動の振興	①	スポーツ教室イベントの充実	B	B
18					②	スポーツ団体育成支援事業	B	B
19	10	青少年の健全育成	1	家庭教育の充実	①	家庭教育推進事業(生涯)	B	A
20					①	家庭教育推進事業(公民)	B	B
21			2	生きる力を育む体験活動の推進	①	青少年活動推進事業(生涯)	C	C
22					①	青少年活動推進事業(公民)	C	C

A/十分な成果である、B/概ね良好、C/改善等が必要

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-1-①	施策名	キャリア教育の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	422	413	434	△20	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> : 市単独	<input type="checkbox"/> : その他	
事業の目的	○生徒達にとって居がい感や自己有用感及び、自ら学び考える力を育み、将来の目標について考える機会を与えることを目的として、市立中学2年生に職場体験学習(キャリアスタートウィーク)を、中学1年生に職場見学を実施する。				
施策の対象者	・市内中学生				
今年度の目標	事業開始年度：平成24年度 ○市立中学2年生の職場体験学習(キャリアスタートウィーク)と、中学1年生の職場見学において、生徒の受け入れ先となる事業所を新規開拓し、その一覧表を作成し、事業所を紹介することで各中学校を支援する。				
施策内容 (実施状況 実施値等)	○市内の事業所を回り、数カ所新規開拓できた。 ○特別活動・総合的な学習の時間において、キャリア教育に関する取組を行った。 ○生徒のアンケート結果から ・興味のある職業への理解が深まり、さらに将来はこの仕事に就きたいと思った。働くことは大変なことだと実感できた。 ○事業所のアンケート結果から ・取り組む姿勢が皆真剣で、皆様の夢が膨らむために少しでも役に立てるようであればできる限り協力したい。 ・礼儀正しく元気があり、積極的に取り組んでくれた。今後の社会貢献に期待している。				
課題	○市内の事業所数の減少により、受け入れ先の新規開拓が難しく、矢板中学校の2年生の人数分を確保するのが難しい。 ○生徒の希望する業種に偏りがあり、希望を叶えられない。				

●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	事業所における職業見学・体験を通し、職業への理解・関心が深まっている。
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	手法はほぼ確立されており、受け入れ先事業所の協力・連携が図られている。
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	受け入れ先事業所の多大なるご協力により、無償で実施できており、効果が大きい。
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	全生徒を受け入れられる事業所数は確保することができたが、生徒の希望に添えない場合も見られた。新しい分野の受け入れ先の新規開拓に努めていく。
評価結果	28	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)	ランク B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止		

●委員評価

評価項目	点数	基準
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)
評価結果	28	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下) ランク B
委員の意見	○少しずつではあるが、協力者が増えていることを評価したい。新しい分野の協力者の開拓も必要と思う。希望する業種でなくても、体験することで、新たな自己の発掘や、生徒の社会性の一端を担う良い機会であると考え。	

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	1-2-①	施策名	地域人材の活用	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	289	303	248	△55	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	家庭・地域から信頼される開かれた学校づくりを目標に、次世代を担う子どもたちのふるさとの対する愛着心を育み、その地域の特色ある伝統文化を重んじ、地域とのつながりや児童生徒の特性に合わせ、学校ごとに地域人材を活用し、教員とは異なる地域人材ならではの学習機会の充実を図る。				
施策の対象者	小・中学校の児童生徒及び地域の方				
今年度の目標	信頼される学校づくりの一環として、地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりを目指し、地域と学校とのつながりを活かした講座、授業等を令和元年度までに延べ400回実施することを目標に掲げていたが、平成29、30年度は目標回数を達成できたので、今年度についても引き続き外部人材活用を積極的に実施していきたい。地域人材については、幅広い分野の方に協力いただき、多種多様な授業・講座を実施したい。				
施策内容 (実施状況 実施値等)	開かれた学校づくりを目的として、主に学校周辺や地域の方々のボランティア等により、多種多様な授業・講座を実施した。 ・外部人材の協力により市内小中学校11校で、延べ372回の授業・講座等を実施した。(西小学校の統合に伴い延べ回数は減少) ・ふるさと探訪、伝統楽器の講習、高齢者交流会、農業体験、地域の自然観察、ふるさとに対する関心や知識を深め、愛着を感じる事業を実施することができた。 ・全校行事として実施した学校は、縦割り班で活動することにより異学年での交流が図れた。 ・児童生徒と住民が交流することにより、地域住民同士の絆が深まった。 ・様々な職業に触れ、児童生徒の職業観を養う一助となった。				
課題	例年同様の事業を実施しているが、活動の拡充、人材の発掘等、新たな計画立案に苦慮している。各学校ごとに地域人材の活用を行っているが、いくつかの学校が共同で事業を実施できれば、費用対効果や、活用内容の拡充も図れる。				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	地域住民同士の関係が希薄になりつつあるが、学校で率先して地域住民と交流することにより相互理解が図れた。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各学校で多種多様な人材を活用しているので、地域と学校との様々な交流が図られている。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	外部人材の協力により、安価で効果的な講座や授業が実施できている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各学校がそれぞれに取り組んでいるので、回数、内容、にバラつきはあるが、生じている。ふるさとに対する関心・愛着を感じる事業を実施できている。	
評価結果	28	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)		
評価結果	28	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)	ランク	B
委員の意見	○継続し教育的効果を高めるためには、活用する内容を教育課程に位置付けることが重要であり、学校への指導を行ってほしい。また、各学校の共同実施により、交流することで課題の克服を期待する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-3-①	施策名	小中一貫教育、小中連携の実践		主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度		前年度比	
	3,265	3,358	3,323		△ 35	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> : 市単独		<input type="checkbox"/> : その他	
事業の目的	○小学校から中学校へ進学する際の円滑な接続を図るとともに、児童生徒ひとりひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力を育成する。 ○泉小中一貫教育は平成21年度、片岡地区小中連携については平成24年度より実施されている。					
施策の対象者	小中一貫：泉中学校及び泉小学校　小中連携：片岡中学校及び片岡中学校区内の小中学校					
今年度の目標	○泉小中一貫教育においては、児童生徒や教職員が学校行事や研修等を通して互いに交流し合うことを通じて、よさや個性を認め合い、きめ細かな指導と、個の能力を伸ばす指導を図る。 ○片岡地区の小中学校教職員の合同研修会を通して、教職員相互の交流を行い、義務教育9年間を通じた児童生徒の将来像を共有する。					
施策内容 (実施状況 実施値等)	○小中一貫 ・少人数学習・習熟度別学習やチームティーチング等を取り入れ、きめ細かな指導にあたることができた。 ・小中合同運動会等を行い、異学年とふれあうことで所属感や居がい感を高めた。 活動内容：小中教員合同研修会 9回　児童生徒の交流(体力テスト、運動会等) 4回 ・週末学習教室(泉小5、6年生 泉中の希望者を対象とした学習教室(自習形式) 参加人数27人、回数20回 ○小中連携 ・「片岡スタンダード」の周知徹底を図り、共通した指導の確立。 合同研修会 4回　推進会議 7回 ・ノーメディア週間を中学校の定期テスト期間という共通の日に設け、保護者の協力を得ながら進めることができた。また、「ノーメディア」という言葉が時代に合わないため、「タイムマネジメント」という言葉に置き換えて、来年度から実施することとした。					
課題	○教職員の働き方改革が奨励されており、研修会や推進協議会のあり方を再検討する必要がある。 ○安沢小学校は、中学校区がまたがっており、配慮を必要とする。					

●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	泉地区小中一貫では行事等を合同で行うことで中1ギャップの解消だけでなく、下級生のよい見本となることでリーダーの育成にもつながっている。
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	児童生徒の交流については、年間計画を立て、市バスを確保することで円滑に行うことができた。
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	宇都宮大学との連携に小中一貫や小中連携、さらに学力向上応援団事業を重ねることで、専門的な指導をさらに広く共有することができた。
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	片岡地区では、学力向上に特化した取り組みで小中連携を行ったことにより、児童生徒の学力に伸びが見られた。
評価結果	28	A (32点以上)　B (31~24点) C (23点以下)	ランク B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止		

●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)	
評価結果	28	A (32点以上)　B (31~24点)　C (23点以下)	ランク B
委員の意見	○小中学校の統合を見通して、今後の方向性を考えてほしい。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	1-4-①	施策名	いじめ、不登校等教育相談	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	5,445	5,208	5,358	150	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	事業開始年度：平成3年度 ○いじめに起因する重大事件や不登校の増加は全国の小中学校で大きな問題となっており、本市においても例外ではない。いじめ・不登校の対策として、不登校傾向の場合には適切な対処とともに教育相談を充実させ未然防止を図り、不登校の場合には教育相談や適応指導教室通級から原籍校への復帰を図る。				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	○矢板市適応指導教室「チャレンジハウス」での教育相談を充実させる。 ○教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー(SSW)を矢板市教育委員会教育総務課に配置することで、市内小中学校と連携し、いじめと不登校の早期発見・未然防止に努める。				
〔施策内容 実施状況 実施値等〕	○令和元年度矢板市適応指導教室「チャレンジハウス」 ・通室生 小学校 3年1名 6年3名 中学校 1年3名 2年3名 3年2名、 ○令和元年度矢板市SSW ・相談者 小学校 2年2名 3年2名 4年1名 5年1名 6年2名 中学校 1年1名 2年4名 3年1名				
課 題	・不登校の原因が家庭問題に起因するケースが多いが、家庭と連携できないケースがある。 ・発達障害がある児童生徒が多いので、今後も臨床心理士、カウンセラー等にアドバイスを受け、指導に生かしたい。				

●自己評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	不登校児童生徒にとって、チャレンジハウスは学校とは違う環境のため、通室し過ごしやすく、学校復帰へ向けて有効である。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	児童生徒一人ひとりの実態に合わせて、活動内容を決めることができるため、その児童生徒にとって必要なことを学びやすい。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	即効性のあるものではなく、時間をかけて、それぞれの児童生徒にあった支援を行うことで効果が現れてきている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	不登校や引きこもりに陥っていた児童生徒が、通室することで成長できている。1人が原籍校に復帰し、中学校3年生6人が県立高校や私立高校、専門学校等に合格することができた。	
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点 数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)		
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
委員の意見	○難しい問題に対し、日々の努力に感謝する。教育相談員によるケース管理は、効果が出ると思われる。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-5-①	施策名	情報教育の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	3,022	2,894	1,270	△ 1,624	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> : 市単独	<input type="checkbox"/> : その他	
事業の目的	事業開始年度：平成24年度 OICT機器及び視覚的なソフトを整備し、有効活用することにより、主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。				
施策の対象者	・市内小中学生				
今年度の目標	○各小学校に電子黒板アシスタントを1つずつ、デジタル教科書を小学校に8個、中学校に5個整備し、分かるできる授業の実践を支援する。				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	○各小学校に電子黒板アシスタントを1つずつ整備した。 ○デジタル教科書は以下のように整備した。 ・矢板小 国語6個(1～6年)算数2個(1・2年) ・東小 国語2個(1・2年)算数6個(1～6年) ・川崎小 国語6個(1～6年) ・西小 国語4個(1～4年)算数4個(3～6年) ・豊田小 国語2個(1・2年)算数6個(1～6年) ・泉小 国語6個(1～6年)算数2個(1・2年) ・片岡小 国語2個(5・6年)算数6個(1～6年) ・乙畑小 国語2個(5・6年)算数6個(1～6年) ・安沢小 国語2個(1・2年)算数4個(3～6年)社会2個(5・6年) ・片岡中 地理・歴史・英語(1～3年) ○デジタル教科書を使うことで、わかる授業につなげることができた。				
課題	○予算に制限があり、学校の要望に応じた必要数を整備できない。 ○デジタル教科書…全教科での使用ライセンスを取得していく必要がある。				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	多くの教員は有効に活用しているが、今後実態を把握し、必要数を検討していきたい。	
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	デジタル教科書は、ソフトの容量が大きく、センターサーバーへの配置が難しいため、各学校へ配置しなければならない。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	子どもたちの授業に向かう姿勢が、前向きになった。画面を見せながら考える活動が活発になっている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各学校と協議し、計画通り整備できた。	
評価結果	25	A (32点以上) B (31～24点) C (23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> : 拡大 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	25	A (32点以上) B (31～24点) C (23点以下)	ランク	B
委員の意見	○各教諭の研修と各家庭の協力を得ることに努めてほしい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	1-5-②	施策名	学校図書館の充実	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	8,818	10,324	10,431	107	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	事業開始年度： 学校図書館法の第1条の子どもの健全な発達を図り、学校教育を充実させることを目的とし、第2条に基づき、図書館資料を児童生徒や教員の利用に供することにより、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられている学校の設備の充実を図るものである。				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	学校図書館の充実には「人材の整備」「蔵書の整備」双方が必要となる。 ・人材の整備については、学校図書館の活動の充実を図るため、臨時職員を配置(小学校4人 中学校3人) ・蔵書の整備 図書購入 小学校@900円×1,483人=1,334,700円 @50,000円×8校=400,000円 合計1,734,700円 中学校@900円×842人=757,800円 @100,000円×3校=300,000円 合計1,057,800円				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	○図書購入実績 小学校1,662冊 中学校726冊 ○図書室の環境整理(蔵書管理・貸出) ○図書推進活動(読み聞かせ 月1回程度) ○学校と図書館連携のための研修会(年3~4回 各小中学校) ○図書事務スキルアップ研修(年2回) ○蔵書の計画的な整備 ○図書室に各1台パソコンの配備及びインターネット環境の整備、蔵書管理システムの導入(5校)とそれに伴う研修の実施				
課 題	○現在、図書事務員を臨時職員により対応しており、尚且つ各校1名の配置ができていないことから、今後は、各校に図書事務員を常駐するよう予算要求をするとともに、委託等を検討することにより、学校図書館の充実を図る必要がある。また、本市の適正規模・適正配置計画により分散している教育経費が集約されることで、学校教育の充実を図るとともに児童生徒の教養を育成することも視野に入れ検討することも必要と考える。				

●自己評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	推進するための活動及び研修により読書への関心が深まっている。
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各学校に図書事務員の常時一人の配置がされていないことから、今後検討を要する。また、適正規模・適正配置計画により分散している教育経費の集約により、学校教育の充実を図る
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	蔵書については、基準以上の整備ができていることから効果は大きい。また、基幹校については、電子管理システムを導入しており蔵書管理の応用が可能である。
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	蔵書については、要望とおり整備できているが、人材の整備には増員を検討する必要がある。また、本市の適正規模・適正配置計画により分散している教育経費を集約されることで、学校教育の充実を図ることも必要と考える。
評価結果	22	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク C
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止		

●委員評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
評価結果	22	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク C
委員の意見	○学校図書館の充実がなされつつあり、今後の活用状況に期待する。また、図書事務員の全校常駐配置を継続して求めてきたが、小中学校の統合により今の人員を確保することで図書事務員全校常駐を実現することで、読書教育の充実を図ってほしい。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	1-5-③	施策名	学校施設大規模改修事業	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	76,226	22,474	569,135	546,661	
制度区分	<input checked="" type="checkbox"/> ：補助(国) <input type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	事業開始年度： 増大する維持管理費を抑制するため、大規模な改修を行うことにより建物の長寿命化を図る。また、令和元年度は、市内小中学校の普通教室に空調設備を設置することで、学校施設における熱中症対策を図る。				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事：東小、矢板小 湿式・和式トイレから乾式・洋式トイレへ改修を行う。(矢板小6箇所、東小9箇所、各男女/箇所) ・空調設備設置工事：矢板小、東小、川崎小、豊田小、片岡小、乙畑小、安沢小、矢板中、泉中、片岡中 普通教室に空調設備を設置する。(小中総計124教室、設置台数126台) 				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	○空調設備 R17.7より全台稼働開始 普通教室設置率 工事前：6.8% →工事後：100% ○東小トイレ改修工事 R2.2工事完了 東小 校舎洋式化率 工事前：18.6% →工事後：100% ○矢板小トイレ改修工事 R2.3工事完了 矢板小 校舎洋式化率 工事前：26.4% →工事後：76.5% ○市内小中学校 校舎洋式化率 H31.4：36.7% →R2.4：49.7% (※校舎洋式化率には職員用トイレを除く)				
課 題	○空調設備は小中学校全普通教室に設置されたものの、理科室などの特別教室には設置率が19.7%、体育館などの屋内運動場が0%と低いままである。今後は、本市適正規模・適正配置計画を視野にいれながら、特別教室や体育館への設置を検討していきたい。				

●自己評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い (10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い (7) <input type="checkbox"/> やや低い (4) <input type="checkbox"/> 低い (1)	国庫補助金を活用して事業を実施した。市費以外の特定財源を確保できたことは有効であった。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い (10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い (7) <input type="checkbox"/> やや低い (4) <input type="checkbox"/> 低い (1)	各教室ごとにパッケージエアコンを導入したことで、教室ごとのオンオフが可能となり、授業の多様性に対応できるものと考えた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い (10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い (7) <input type="checkbox"/> やや低い (4) <input type="checkbox"/> 低い (1)	学校関係者への聞き取りにて、空調設備設置後の児童生徒の集中力が向上したとの意見が多い。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い (10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い (7) <input type="checkbox"/> やや低い (4) <input type="checkbox"/> 低い (1)	事業計画時点のとおり工事が完了できた。	
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い (10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い (7) <input type="checkbox"/> やや低い (4) <input type="checkbox"/> 低い (1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い (10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い (7) <input type="checkbox"/> やや低い (4) <input type="checkbox"/> 低い (2)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い (10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い (7) <input type="checkbox"/> やや低い (4) <input type="checkbox"/> 低い (3)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い (10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い (7) <input type="checkbox"/> やや低い (4) <input type="checkbox"/> 低い (4)		
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
委員の意見	○子どもたちの健やかなる教育のため、日々の努力に感謝する。しかしながら、築40年の建物が目立つ。中長期的な計画を立て計画的に大規模な改修等新築も含め検討する時期にあるのではないかと考える。子どもたちの学びの場の安全性の確保は、最優先ではないか。			

※評価ランクは、A (十分な成果である)、B (概ね良好)、C (改善等が必要) とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	2-1-①	施策名	幼保小連携の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	0	0	0	0	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	○小1プロブレム解消のため、就学前の幼稚園及び保育園(保育所)での教育から小学校教育へなめらかに確実な接続を行うとともに、児童ひとりひとりへのきめ細かな指導が図れるよう幼稚園、保育園(保育所)と小学校間での連携を強化する。				
施策の対象者	幼稚園教諭、保育園(保育所)保育士、小学校1年生担任、特別支援学級担任、特別支援コーディネーター				
今年度の目標	○ひとりひとりの園児の抱える課題を解決するため、指導主事が子ども課と協力して幼稚園、保育園(所)訪問を行い、細かな情報を得た上で適切な教育支援を行い、卒園後は小学校へ情報提供を行ってもらう。 ○園児が抱える課題を解決するため、市内の特別支援学級担任に幼稚園、保育園(所)での様子を参観してもらい、一緒に関わり方をアドバイスする。 ○小1プロブレムの解消が図れるよう、児童や保護者の困り感ばかりでなく、担任の困り感にも寄り添い指導方法についても共に考える。 ○市が共通の支援シートを作り、それに幼稚園、保育園(保育所)が記入することで同じ観点で小学校に伝達できるようにする。				
施策内容 (実施状況) 実施値等	○市内の全ての幼稚園、保育園(保育所)、小学校の関係者が一堂に会し、情報交換会を行った。 ○教諭や保育士が互いに交流、情報交換することで、子どもたちの様子を同じ視点で把握することができ、さらには将来を見通した指導方針を立てることができた。				
課 題	○細やかな配慮事項の伝達が必要な児童が多い小学校は、伝達に時間がかかったり、幼稚園や保育園(保育所)の担当者を待たせてしまったりしてしまった。				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	関係者の情報の共有が図られ、小1プロブレムの解消に繋がる取り組みとなることができた。送り出す側の心配も減少した。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各小学校が各幼稚園等を訪問したり、各幼稚園等が各小学校を訪問していたので、伝達する順番を工夫し、一堂に会して行うことで効率良く行うことができた。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	費用を要せずに、学校、幼稚園・保育園等の施設を訪問し、保育士、教員に対して具体的な指導方針やうまくいっている対応を共通理解することができた。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	児童ひとりひとりを考えた情報交換会であるため、個に応じた指導方法や家庭環境など小学校でほしい情報が得られ、その後の小学校生活の円滑なスタートにつながった。	
評価結果	34	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	34	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	A
委員の意見	○支援シートの活用により、子ども達の実態がより把握できるようになっている。引き続き子ども達の実態把握に御尽力願う。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	3-1-②	施策名	公民館市民講座開催事業	主管課	公民館
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	1,525	1,393	1,135	△ 258	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	市民誰もが生涯にわたり豊かさを実感できるよう、生きがいづくりや社会課題、地域課題、生活課題などのテーマに沿った市民講座を開設する。				
施策の対象者	市民				
今年度の目標	<input type="checkbox"/> 男性を対象とした講座を継続実施する。 <input type="checkbox"/> 主催講座から自主講座へと移行できるよう支援する。				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	市民講座●矢板公民館/若葉学級(高齢者)9回、大人の遠足シリーズ3回、世界のお菓子作り教室3回、クリスマスケーキ作り教室1回、川柳入門教室12回、Word・Excel/パソコン教室各10回、科学は科楽4回、自遊時在1回、●泉公民館/高齢者学級9回、いずみ元気塾12回、ジュニアテニス24回、ラフターヨガ10回、家庭料理8回、リフレッシュ体操12回、釜のふたまんじゅう作り1回、わくわくクラブ10回、おさんぽクラブやいた2回、ものづくり講座6回●片岡公民館/いきいき(高齢者)学級8回、下野おくのほそみちをたどる1回、和い輪い学級9回、手作り味噌教室1回、クリスマスケーキ作り1回、自彊術10回、パン作り教室6回●華道24回、お針の会12回、気功・太極拳24回、書道教室24回				
課題	継続講座の受講生が固定化され、新規受講者が少ない。 若い女性や男性参加者が少ない。				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	主催講座から自主講座へ移行するなど継続的な展開となっている。継続的な自主講座ので、開設ができています。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	継続講座の受講生が固定化され、新規受講者が少ないが、特に高齢者が参加する講座は、認知症予防につながっている。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	自主的な活動により、費用が低くおさえられている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	参加者は少なかったが、アンケートによる内容で、男性を対象とした講座ができた。今後とも参加者へのアンケートを実施し、継続的に実施していきたい。	
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)		
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
委員の意見	<input type="checkbox"/> 社会問題、地域・生活課題を取り入れた単発事業を実施したらどうか提案する。 <input type="checkbox"/> 講座参加者の声を発信してはどうか提案する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	4-1-①	施策名	学校支援地域本部事業	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	2,727	4,772	3,992	△780	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	学校支援地域本部の機能を発揮し、知識・経験豊富な地域の人材を活用し、学校教育を支援する。				
施策の対象者	市内小中学校及び放課後子ども教室(豊田小・乙畑小)				
今年度の目標	学校のニーズを把握し、ボランティアの養成に努める。				
〔施策内容 実施状況 実施値等〕	学校支援地域本部/専任コーディネーターを本部に1人配置。矢板、泉、片岡公民館に地域コーディネーター(社会教育指導員)を各1人配置し、学校へ地域人材の派遣を行う。 ○人材バンクの登録/228人 ○出前講座(学校) 45回開催、のべ2,344人参加 ○学校支援(プログラミング教育支援、ミシンボランティア、読み聞かせ、託児等) 132回実施、のべ13,951人利用 ○放課後子ども教室開設/平日開催：豊田っ子ふれあいスクール、平日・長期休業日開催：乙畑ひまわりスクール				
課 題	地域における教育力の低下、家庭の孤立化などの課題や、学校を取り巻く問題の複雑化・困難化に対して、社会総掛かりで対応するため、学校と地域がパートナーとして連携・協働するための組織的・継続的な仕組みづくり(地域学校協働活動本部の設置)が必要である。				

●自己評価

課 題	点 数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	効果的な支援活動を紹介したり新たな支援内容を提案したりするなどして、学校からの要請も増えてきている。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	学校との連絡調整を円滑にするため、専任コーディネーターを配置しているので、効果が表れてきている。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	専任コーディネーターを嘱託員とすることでコストは上昇したが、学校及び地域との連携が充実してきた。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	学校のニーズに応えるため、学校支援ボランティアの研修を実施し、授業や学校行事(プログラミング教育支援・校外学習引率補助等)を支援することができた。	
評価結果	28	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点 数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)		
評価結果	28	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)	ランク	B
委員の意見	○学校側が必要としているボランティアの把握と募集内容の情報公開の拡充と更なる工夫を実施願う。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	5-2-①	施策名	地域づくり推進事業	主管課	公民館
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	8,353	9,547	3,199	△ 6,348	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	事業開始年度：昭和42年度 地域づくりの先進地事例研究、視察や地区ごとの交歓会などを通じ、地域づくりリーダーの研修や情報交換を行い、地域のリーダーとしての資質を高め連携を深めるとともに、自治公民館整備など地域づくりの拠点整備を支援する。				
施策の対象者	矢板、泉、片岡地区区長会・自治公民館長・地域のリーダー等				
今年度の目標	区長、自治公民館長、地域のリーダー研修会や交歓会を通じ、地域づくりリーダーの育成を図る。				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<input type="checkbox"/> 地区区長会視察研修 各地区1回(矢板地区は中止) • 自治公民館長視察研修 1回 <input checked="" type="checkbox"/> 自治公民館交歓会の開催 各地区1回 <input checked="" type="checkbox"/> 自治公民館地域づくり活動費助成 57館@50,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 自治公民館整備費助成 改築1館(荒井) 203,002円 <input checked="" type="checkbox"/> 片岡地区コミュニティ推進協議会支援				
課題	区長や自治公民館長以外の地域のリーダー予備軍の参加者が少なく、地域づくりリーダーの育成支援の効果がでない。(高齢化による人材不足、地域のつながりの希薄化、世代間の地域に対する考え方の乖離等)				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各研修会や各自治公民館との交流により情報交換をする交歓会などの実施は妥当である。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	公民館研修については、館長とリーダー合同で開催することにより、研修成果をリーダーに引き継げる。	
費用対効果	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	区長や公民館長以外のリーダー予備軍の参加が少なく、効果があまり出ていない。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	区長、自治公民館長研修会や交歓会は、他地区の情報交換の機会として十分な効果があった。	
評価結果	25	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	25	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
委員の意見	○地域づくりにおける交歓会によって得られる情報は、貴重であり、継続して行うことを強く要望する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	6-1-①	施策名	生涯学習情報の提供	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	414	417	374	△43	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	市民講座などの学習機会やボランティアなど地域貢献活動の活動機会などの情報を発信し、市民の生涯学習活動の充実を図るとともに市民参画型生涯学習のまちづくりを推進する。				
施策の対象者	市民				
今年度の目標	市民の生涯学習活動の充実を図るとともに市民参画型生涯学習のまちづくりを推進する。				
施策内容 実施状況 (実施値等)	○生涯学習情報誌「まなび」の発行(11,500部、全戸配布) ○広報紙及びホームページ、やいこみゆ(LINE)、ツイッターの活用、案内チラシの配布(広報紙と同時、学校配布) ○公民館・生涯学習館展示コーナー、図書館ギャラリー貸出				
課 題	情報を活用し生涯学習に取り組む人と、そうでない人の差が大きい。 興味を引く、目に留まるような情報発信の工夫。 「まなび」の見直し(読みやすさの工夫)。				

●自己評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	コストを抑えた中、今ある媒体をできる限り活用している。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	広報紙や広報紙と一緒に案内チラシを配布、そのほか子どもを対象とした事業等は、学校へ直接チラシを配布するなどしている。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	「まなび」を1部約33円で作成しており、費用対効果は高めと考える。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	出前講座の要請は増えてきている。市民が生涯学習に取り組む意識に、温度差がある。興味を引くよう案内チラシ作成など工夫したい。	
評価結果	28	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)		
評価結果	28	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)	ランク	B
委員の意見	○昨年度同様工夫が窺える。継続して根気強く情報提供・情報発信が大切である。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	7-1-①	施策名	矢板武記念館運営事業	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	6,588	3,647	3,899	252	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	事業開始年度：平成9年度 ・郷土の偉人「矢板武」の功績を後世に伝え郷土への関心を高めるため、記念館を管理運営し公開する。				
施策の対象者	一般				
今年度の目標	・記念館の維持・管理 ・イベント(シダレザクラライトアップ、体験事業等)開催、入館者の増 ・蔵を利用した地域活性化 ・日本遺産構成文化財のPR				
施策内容 (実施状況 実施値等)	○日本遺産認定による関連事業の実施 ・矢板武銅像の移設(市役所東側庭園→記念館正面玄関) ・矢板武記念館パンフレットを新バージョンに刷新 ○イベント開催 ・シダレザクラライトアップの実施。昨年度に引き続きライトアップ期間中の入館料を無料とした。 ・親子バステル画教室、お化け屋敷「聚塵亭」の開催(日本遺産普及啓発)。 ・郷土資料館と2館同時開催でお正月イベントを実施。 ○蔵の活用 ・地域活動団体による朗読会の開催。 ※入館者数 R01 4,165人 H30 3,412人 H29 4,856人				
課題	・老朽化による維持管理経費の増大。 ・さらなる集客力の強化。				

●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・H26から改修した蔵を活用。さまざまなイベントを開催するなどして活用を図っている。
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・市の観光施設としての役割も担っているが専用駐車場がなく、アクセスに難がある。
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・ライトアップや朗読会などのイベントは観覧者がSNSやネット上で記事を投稿するため市のPRに役立っている。
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・日本遺産普及啓発事業によるイベントの開催などで記念館のPRをすることができた。
評価結果	25	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止		

●委員評価

評価項目	点数	基準	準
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
評価結果	25	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク B
委員の意見	○平成28年度より引き続き、ぜひ、専用駐車場の確保を願う。 ○矢板武氏の功績のさらなるPRを願う。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	7-1-②	施策名	郷土資料館運営事業	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	6,982	6,543	9,929	3,386	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	事業開始年度：平成24年度 ・郷土資料を展示し、郷土の歴史を学ぶことができる施設として公開する。 ・企画展、市民作品展、体験教室等を開催し、住民参画型の資料館運営を図る。				
施策の対象者	一般				
今年度の目標	・資料館の維持・管理 ・企画展、市民作品展の開催 ・体験型事業の開催				
〔施策内容〕 〔実施状況〕 〔実施値等〕	<input type="checkbox"/> 企画展、市民作品展 ・企：「矢板の植物一斉公開～泉地区の希少植物編～」、「中世陶磁器の世界～矢板の中世と県博陶磁器博物館～」(栃木県博移動博)の2企画展を実施。(合計来館者数588人) ・市：水彩画展、油絵展、写真展など4作品展を実施。(合計来館者数934人) <input type="checkbox"/> 体験事業 ・常時体験メニュー、定期体験メニューのほか、移動体験教室「模造紙で烏帽子を作ってみよう」、「ストロー笛を作ってみよう」の2事業を開催。また、文化財愛護協会の「土器づくり体験」やとちぎ子どもの未来創造大学「恐竜教室」「十二単と鎧を着てみよう」の会場として利用。 ・矢板武記念館と2館同時開催で正月イベントを実施。 ※入館者数 R01 2,991人 H30 3,016人 H29 3,735人				
	課題	・老朽化による維持管理経費の増大 ・資料館に定期的に来館してもらえる仕組みづくり			

●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・郷土資料の展示や企画展を開催し、郷土の歴史を学べる機会を図っている。また、体験学習の場として有効活用している。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・専門(学芸員)職員を配置し、魅力ある体験事業を開催している。	
費用対効果	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・企画展、作品展、体験事業を通し入館者増に努めている。	
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・移動体験教室のほか、とちぎ子どもの未来創造大学の体験講座を開催。郷土資料館のPRとなった。入館者減(新型コロナウイルス感染症含む)	
評価結果	22	A (32点以上) B (31～24点) C (23点以下)	ランク	C
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	22	A (32点以上) B (31～24点) C (23点以下)	ランク	C
委員の意見	<input type="checkbox"/> 魅力ある企画展を期待している。 <input type="checkbox"/> オンラインでの見学の取組に期待する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	8-1-①	施策名	芸術文化振興事業	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	865	820	835	15	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	事業開始年度： ・文化、芸術に関する団体などに補助・交付金を交付し活動を支援することにより芸術文化の振興を図る。 ・矢板市文化祭など文化・芸能活動の成果発表の機会を提供することにより芸術文化活動の振興を図る。 ・市民の文芸作品を広報やいたに掲載し、文芸人口の拡大を図る。				
施策の対象者	一般、団体				
今年度の目標	・文化祭の開催 ・芸術文化団体補助金の交付				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	○文化祭開催 ・11月1日～3日 作品展示：397点 茶会：3席 (芸能発表61組は文化会館の台風被災により中止) ・特別企画として、作品展示会場にて郷土資料館移動体験教室「ストロー笛を作ってみよう」を同時開催。 ○芸術文化団体補助金 ・4件 90千円 矢板ウィンドオーケストラ、県立矢板高等学校(栄養食物科、農業経営課、機械科) ※平成30年度 3件 75千円				
課題	・文化祭出品数や出演者数が減少しているため、募集内容や方法について工夫する必要がある。 ・オンラインなどにより、若い世代にもアプローチし、幅広い年代から参加してもらえるようなしくみの構築に取り組んでいく必要がある。				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・文化祭においては、市民の文化・芸術活動の成果発表の機会を提供し、芸術文化活動の推進を図った。文化祭運営については、文化協会が市から受託し自ら運営している。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・文化祭は文化協会に実施委託。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・総事業費のうち50万円は文化祭開催委託金。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・文化祭3日間の開催のうち11月3日については、他事業の祭り・イベントとの同時開催により、多くの来場者でにぎわった。	
評価結果	28	A (32点以上) B (31～24点) C (23点以下)	ランク B	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A (32点以上) B (31～24点) C (23点以下)	ランク B	
委員の意見	○発表の場の確保が励みになるので、継続願う。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	8-1-②	施策名	ともなり文芸祭りの開催事業		主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度		前年度比	
	1,200	1,200	1,000		△ 200	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他					
事業の目的	事業開始年度：平成11年度 ・歌人「塩谷朝業」にちなみ文芸の振興を目的として「ともなり文芸まつり」を開催する。 ・市民文化のレベルアップと併せ矢板市のPRにつとめる。					
施策の対象者	一般					
今年度の目標	・ともなり文芸祭り(誌上大会)の開催 ・応募方法の検討 ・入選作品のHP発表					
施策内容 (実施状況 実施値等)	<input type="checkbox"/> 文芸祭り開催 ・短歌、俳句、川柳、詩各種目実施。 <input type="checkbox"/> 小学生、中学生・高校生部門の表彰式については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 <input type="checkbox"/> 市内9か所に応募箱を設置 <input type="checkbox"/> 生涯学習館、市役所、公民館(矢板、泉、片岡)、矢板武記念館、図書館、城の湯温泉センター、道の駅やいた <input type="checkbox"/> 入賞者をHPで紹介 <input type="checkbox"/> 大賞作品のほか、準大賞、奨励賞の作品および入選者全員の氏名をHPに掲載。 <input type="checkbox"/> 応募作品数 短歌 1,998 俳句 3,266 川柳 2,000 詩 1,176 全体 8,440 ※前年度作品数(内○)は60周年記念事業の部作品数 短歌 2,623 (1,092) 俳句 3,783 (1,464) 川柳 2,592 (1,278) 詩 1,306 (612) 全体 10,304 (4,446)					
	課題	短歌(一般の部)は全国に、それ以外は県内に向けて広く作品を募集し、今後も本市のイメージアップを図る。				

●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・短歌一般の部については、全国展開し、矢板市のPRに努めている。また、短歌以外にも俳句や川柳などの文芸作品を募集し、市民が参加しやすい大会としている。
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・多数の児童生徒が参加する市内の小中学校については、応募用紙の配布や取りまとめについて工夫している。また、リピーターや他の短歌大会での応募用紙の配布なども行っている。
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・「矢板市」の認知度アップに貢献していると思われる。入賞者には副賞として矢板市の特産品などを配布している。
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・市制施行60周年記念事業の前回ほどの応募総数には届かなかったが、ほぼ例年通り8,000点を上回り、文芸祭りが定着してきた。
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止		

●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)	
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク B
委員の意見	<input type="checkbox"/> 少しではあるが、投票箱の設置の効果が窺える。PRと継続して行うことで更なる認知を得、本市のイメージアップを図られたい。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	9-1-①	施策名	スポーツ教室イベントの充実	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	976	1,056	1,041	△15	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人1スポーツを目指し、市民の体力と運動能力に応じたスポーツ活動が行えるよう、スポーツ教室を開催する。 ・市民が気軽にスポーツに触れ、始めるきっかけとなるよう、幅広い年齢層を対象に、健康ひろばを開催する。 				
施策の対象者	市民全般				
今年度の目標	・スポーツ教室、健康ひろばの参加者人数の増加				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室：体育協会加盟団体に委託し開催。令和元年度は長期教室19、短期教室1を実施。登録者数は645名と前年度比91名の減。 ・健康ひろば：スポーツ推進委員主催事業として令和元年度は5月～10月、全25回開催。やいた健康ポイント事業とのタイアップもあり、参加者は577名、前年比194名の増。 ※健康ポイントとは、参加者に活動量計(歩数計)を持っていただき、健康づくり活動(健康教室への参加など)に対してポイントを付与する仕組みです。貯まったポイントを商品券などの素敵な商品と引き換えることができます。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室への参加者の固定化、偏りが見られる。 ・健康ポイント事業が終了しても、参加者人数が維持できるような工夫が必要である。 				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・長期教室19教室を開催、健康ひろばを年20回開催、参加者も増加していることから、手段は妥当であると思われる。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・市が各加盟団体にスポーツ教室開設事業を委託することで、円滑にスポーツ活動が推進されている。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・子どもから年配者まで幅広い年齢層に対応しているため、体力増強、技術向上及び健康維持に貢献している。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	・教室により参加者に差があるので、適数の参加者を確保することが必要となる。	
評価結果	31	A(32点以上) B(31～24点) C(23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)		
評価結果	31	A(32点以上) B(31～24点) C(23点以下)	ランク	B
委員の意見	○他事業とのコラボにより相乗効果を得ていることが窺える。今後も継続に努めてほしい。また、道の駅、山の駅、城の湯などのコラボ企画も検討してはいかがなものか。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	9-1-②	施策名	スポーツ団体育成支援事業	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	5,120	5,120	5,120		
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	本市スポーツの推進に大きな役割を担っている市スポーツ協会と、ニュースポーツやレクリエーションの一層の普及推進を図るためレクリエーション協会の活動を支援する。				
施策の対象者	市体育協会、市レクリエーション協会				
今年度の目標	市スポーツ協会とレクリエーション協会に補助金を支出し、事務局業務によりその活動が活性化されるよう支援する。				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> ・矢板市スポーツ協会活動支援 5,100千円/年補助 ・矢板市レクリエーション協会活動支援 20千円/年の補助 				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・競技力向上と後継者の発掘育成 ・協会の確保 				

●自己評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	加盟団体の育成、競技力の向上、県・地区大会出場支援、スポーツ少年団育成及びレクリエーション活動支援と、多岐にわたる支援活動を実施	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	補助金により支援することで、各加盟団体の自主性を生かすことができる。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	経費削減に努めており、適正額と思われる。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各加盟団体の支援により、活動の活性化には寄与しているが、今後競技力の向上及び更なる普及活動が必要となる。	
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

●委員評価

評価項目	点 数	基 準	コ メ ン ト	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(2)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(3)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(4)		
評価結果	28	A (32点以上) B (31~24点) C (23点以下)	ランク	B
委員の意見	○新たな時代の先駆けとして、国体の在り方に努力と工夫を願う。健闘を見守りたい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	10-1-①	施策名	家庭教育推進事業	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	278	215	192	△23	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	家庭・学校・地域・関係機関との連携を図りながら、子育てしやすい環境づくりと家庭教育力向上を図る。				
施策の対象者	市民				
今年度の目標	子育て学習の開催／家庭教育指導者の育成・活用／子ども読書活動推進／家庭教育の手引き「子育てナビ」の配布				
施策内容 (実施状況 実施値等)	○保護者対象の子育て学習を、出席率の高い各小学校の就学時健診時に合わせて実施。講師を社会教育指導員や男女共同参画啓発活動団体“グループあい”にお願いしており、家庭教育指導者の育成や活用に繋げている。その際、「子育てナビ」を配布し、就学前の家庭教育について振り返るきっかけづくりを行った。				
課題	オピニオンリーダー等ボランティアの育成。 家庭教育学級等の機会を増やす。				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	生涯学習課、社会教育指導員、男女共同参画啓発活動団体、学校支援ボランティア関係が連携して子育て学習事業を実施している。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	就学時健診の待ち時間に子育て学習を実施することで、効率的に保護者全員が参加でき、時間の無駄も省略できた。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	就学時健診を受ける子どもの保護者を対象に市内全ての小学校で開催。ほぼ全員の保護者が参加するので有効活用され、効果は高い。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	小規模校で行った読み聞かせに関する親学習プログラムは74%が「とても満足」、25%が「おおむね満足」という結果が出ている。すべての学校で読み聞かせに関するプログラムを実施している。	
評価結果	31	A (32点以上) B (31～24点) C (23点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	34	A (32点以上) B (31～24点) C (23点以下)	ランク	A
委員の意見	○内容が充実した『子育てナビ』が出来ているので、事業の内容を工夫し、指導者の育成を図り更なる効果に期待する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	10-2-①	施策名	青少年活動推進事業	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	624	1,313	428	△ 885	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> : 市単独	<input type="checkbox"/> : その他	
事業の目的	事業開始年度： 青少年の地域参画力を高め、自立に向けた力を身に付けさせるため、「心の教育」、「地域づくり」、「まちづくり」の視点に立った体験活動を実施するほか、青少年が地域社会の一員として自覚を高め、積極的な役割を果たすことができるよう青年リーダー研修や社会参画活動を促進する。				
施策の対象者	市内青少年				
今年度の目標	ふれあいカードを小1～中3まで配布し、地域活動・ボランティア活動への参加を促す。 子ども会連合会活動として笠間市との姉妹都市交流会を開催し、体験活動機会の提供及び参加人数の増加を図る。 ジュニアリーダーズクラブ活動における会員の自主企画事業の実施、及び会員一人一人の自立とコミュニケーション能力の向上を図るための経験を積ませる。				
施策内容 (実施状況 実施値等)	○矢板市・笠間市子ども会交流会 小学生94人(矢板市32人、笠間市62人) ○ジュニアリーダーズクラブ活動 定例会11回、研修会1回、市及び行政区事業協力等9回				
課題	少子化の影響や子どもの多忙化により、子ども会への加入人数が減少している。 ジュニアリーダー活動においては、行事への参加に偏りがあることと各会員の自立及びコミュニケーション能力の向上が達成できていない。				

●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	子ども会連合会活動等を通し、自立心を育み、仲間づくりが出来る体験活動機会を提供できている。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	ふれあいカードの認知が高まり、地域活動やボランティア活動への参加促進がされてきている。	
費用対効果	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	少子化や子どもの多忙化により、子ども会への加入人数が減少していることが課題である。ジュニアリーダーにおいては、自ら会議を進めるなどの自立した行動になかなか結び付かない状況である。	
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	子ども会の現状やジュニアリーダーズクラブ活動における自主性の促進には課題が残る。	
評価結果	22	A(32点以上) B(31～24点) C(23点以下)	ランク	C
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input checked="" type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	22	A(32点以上) B(31～24点) C(23点以下)	ランク	C
委員の意見	○ジュニアリーダーズの活躍の場の開拓を求める。まず、きれいな公共施設、道路河川であることは、みんなが気持ちよく生活できる環境にあること。その根幹には、教育があると考え。ボランティア活動をとおして、郷土愛や思いやりの心、命の尊さを育ててほしい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

Ⅳ 施策評価シート

施策番号	10-2-①	施策名	青少年活動推進事業	主管課	公民館
事業費 (千円) (決算額)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比	
	624	1,313	189	△ 1,124	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> : 市単独	<input type="checkbox"/> : その他	
事業の目的	事業開始年度： 次代を担うとともに、自然や生活体験、異年齢との交流活動など様々な活動体験をさせ、子どもの健全育成やふるさと意識を育む事				
施策の対象者	市内小学生				
今年度の目標	○子ども地域活動促進事業(ちびっこ広場事業)として実施。 ※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止				
施策内容 (実施状況 実施値等)	○ちびっこ広場 一日一休さん(参加者:小学生26人) 親子でからだを動かそう(参加者:小学生14人・保護者11人) 親子で高原山ハイキング(申込者:小学生4人・保護者4人)※雨天により中止 親子で正月凧づくり(参加者:小学生8名・保護者8名)				
課題	実行委員(ボランティア)が高齢化し、後継者が育っていない。一日一休さんについては、参加者が固定化し、新規参加者が少ない。親子で高原山ハイキング・親子で正月凧づくりについては参加者が減少している。				

●自己評価

評価項目	点数	基準		コメント		
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)	自然や生活体験、異年齢との交流活動などの場の提供ができています。
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input type="checkbox"/> やや高い(7)	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)	想定よりも参加者が少なく、しかも参加者が固定化しているため、新規企画が必要である。
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)	ボランティアと低額の謝金で行っている。
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input type="checkbox"/> やや高い(7)	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)	一日一休さんについては、参加者が固定化し、新規参加者が少ない。親子で高原山ハイキング・親子で正月凧づくりについては参加者が減少している。
評価結果	22	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)		ランク	C	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input checked="" type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止					

●委員評価

評価項目	点数	基準			
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input type="checkbox"/> やや高い(7)	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input type="checkbox"/> やや高い(7)	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
評価結果	22	A(32点以上) B(31~24点) C(23点以下)		ランク	C
委員の意見	○子どもたちの生活環境が一変している。企画内容にアイデアが必要と考慮する。				

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等が必要)とする。

矢板市教育行政事務点検評価委員会設置要綱

（設置及び目的）

第1条 矢板市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「事務の点検評価」という。）を行うにあたり、同条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、矢板市教育行政事務点検評価委員会（以下「点検評価委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 点検評価委員会は、次に掲げる事項について、事務の点検評価を行い、その結果を教育委員会に報告する。

- （1） 教育委員会の基本方針に基づき行う主要施策に関すること。
- （2） その他教育委員会が必要と認める事項に関すること。

（組織）

第3条 点検評価委員会は、委員3人以内で組織する。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

（任期）

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

（委員長）

第5条 点検評価委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、会務を総括し点検評価委員会を代表する。

4 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。

（会議）

第6条 点検評価委員会は、委員長が招集し議長となる。

2 点検評価委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。

3 検討委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴きまたは、必要な資料等の提出を求めることができる。

(事務局)

第7条 点検評価委員会の庶務は、教育委員会事務局教育総務課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検評価委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

令和2年度矢板市教育委員会点検・評価報告書

発行／令和2年10月

矢板市教育委員会事務局

教育部教育総務課

電話:0287-43-6217 FAX:0287-43-4432

E-mail:kyouiku@city.yaita.tochigi.jp